

第 21 回日本皮膚外科学会 総会・学術集会

プログラム・抄録集

会 期 : 平成 18 年 8 月 26 日 (土)、27 日 (日)

名誉会頭 : 伊藤雅章 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 皮膚科学分野教授)

会 頭 : 竹之内辰也 (新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科部長)

会 場 : 新潟市民プラザ
〒 951-8061 新潟市西堀通 6 番町 866 番地 NEXT21 ビル 6 階
TEL 025-226-5500 FAX 025-226-5503

事務局 : 新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科内
〒 951-8566 新潟市川岸町 2 丁目 15 番地 3
TEL 025-266-5111 FAX 025-233-3849
E-mail hifugeka21@niigata-cc.jp

実行委員 : 須山孝雪 高塚純子 三井田 博 田中英一郎
土屋和夫 高橋明仁

ご 挨 拶

この度、第21回日本皮膚外科学会総会・学術集会を新潟市で開催させていただくことになりました。日本海側での開催は今回が初めてとなりますので、大変光栄であると同時に身の引き締まる思いです。昨年は本学会の創設メンバーである熊野公子先生のもと、神戸で第20回記念大会が行われ、皮膚外科学会20年の活動を振り返る貴重な機会でありました。第21回という新たなスタートを切るにあたって、「皮膚外科勉強会の原点への回帰」を目標としました。私が初めて本学会に参加したのはまだ前身としての皮膚外科勉強会の頃でした。通常全国規模の学会という結果の良かった症例などよそ行きの内容になりがちですが、勉強会では診断・治療に難渋した症例や、手術に関する工夫などを結果に関わらず皆で持ち寄り、フロアーからも率直な意見交換がなされるそのスタイルに強い感銘を受けました。いつも狭い講堂で行っていた皮膚外科勉強会の理念は、会の規模が大きくなった現在でも継承していかなければならないことと思います。その意味からも、今回のテーマ演題は「再発・転移癌の治療」とさせていただきました。治療が困難な状況のなかでの各施設なりの努力や工夫、そして苦悩があるはずであり、それらを皆で共有できればと考えています。特別講演は日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学第2講座の又賀泉教授に「口腔悪性腫瘍切除後再建の現状」のタイトルでご講演いただきます。又賀先生は日本皮膚科学会、日本形成外科学会の会員でもあり、両学会の新潟地方会には先生の教室から毎回ご発表をいただくなど、境界領域においても精力的な活動をされています。豊富な手術症例から我々皮膚外科医にとっても診療に役立つお話が聞けるものと期待します。

新潟といえば米、酒が有名ですが、山海の食べ物も大変美味しい所です。学会とはまた違った楽しみとして、夏の新潟を堪能していただければ幸いです。会場となります新潟市民プラザはNEXT21という21階建てビルの6階です。19階には日本海が一望できる展望ラウンジがありますので、学会で疲れた目を休めるのに是非ご利用下さい。新潟も夏は暑いですが、例年通りノーネクタイの軽装でお越し下さい。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

平成18年7月吉日

第21回日本皮膚外科学会総会・学術集会

会頭 竹之内辰也

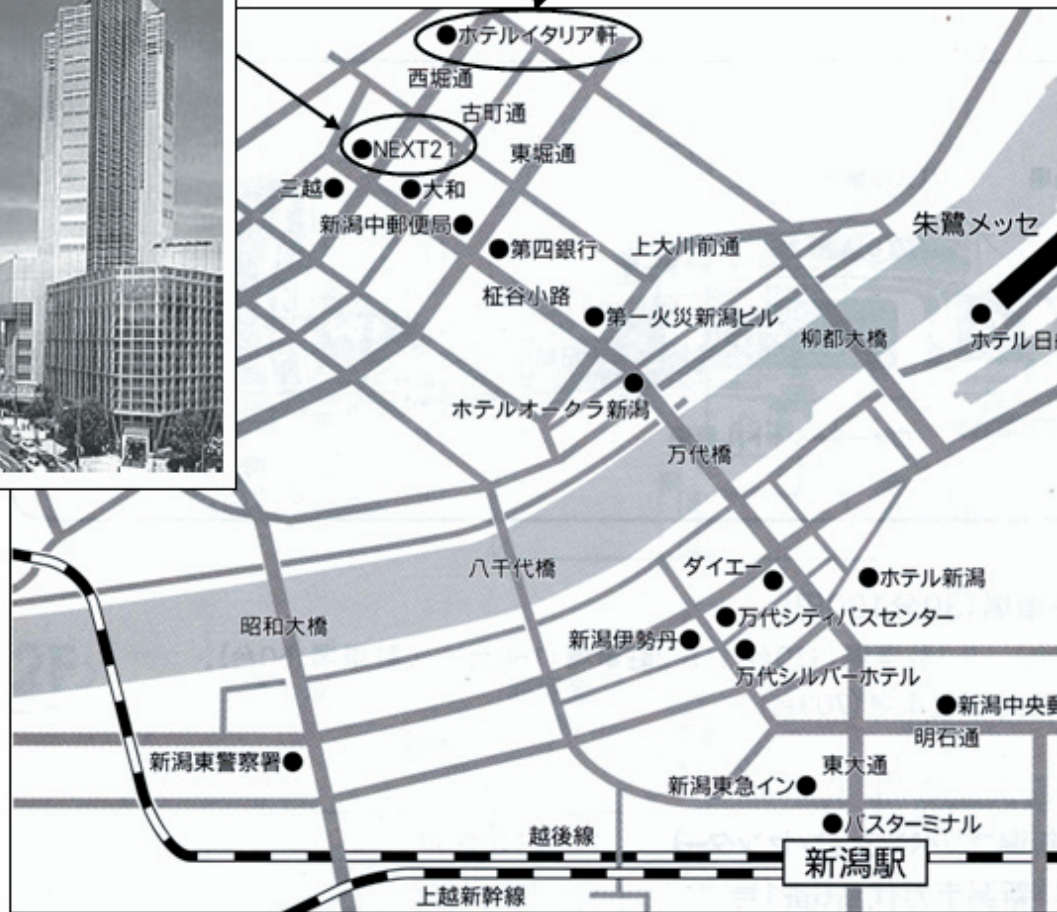
名誉会頭 伊藤 雅章

交通案内

学会場

NEXT21ビル6階
新潟市民プラザ

理事会・評議員会・懇親会場
ホテルイタリア軒



会場へのアクセス

● JR 新潟駅より

- ・バス (10 分)

新潟駅万代口バスターミナルより、8 番線 (信濃町方面) もしくは 9 番線 (川岸町・県庁方面) より乗車→いずれも「古町」下車で正面

- ・タクシー (5 分): 新潟駅万代口タクシー乗り場より乗車

●新潟空港より

- ・バス

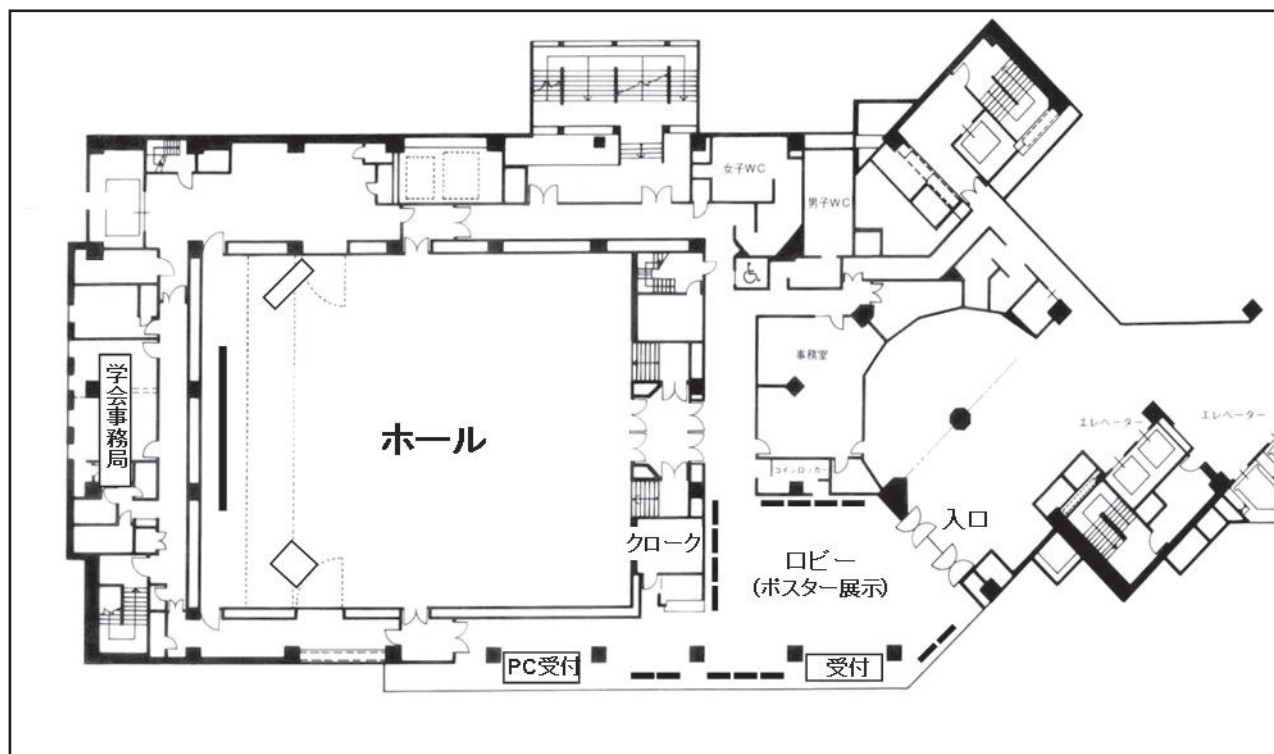
新潟駅行きバスで新潟駅下車 (20 分) →万代口バスターミナルより上記バスに乗り換え

- ・タクシー (20 分)

●自家用車でお越しの方へ

会場周辺には有料駐車場が数ヶ所ありますが、学会としての駐車券の発行等はいたしませんのでご了承下さい

会場案内



NEXT21 ビル 6 階 新潟市民プラザ

- ・ドリンクサービス

ロビーの自動販売機をご利用下さい。

- ・ホール内への飲料類の持込はできません。

- ・会場内は禁煙です。ビルの地下の喫煙所をご利用下さい。

- ・休憩所

NEXT21 ビルの 19 階に、日本海が一望できる展望ラウンジがあります。

ぜひ、一目ご覧下さい！

参加者の方々へのお知らせとお願い

A. 参加者の方々へ

- ・開場時刻：26日（土）は午前11時、27日（日）は午前8時に開場します。
- ・参加受付：ロビーの総合受付でお願いします。参加費8,000円をお支払いの後、ネームプレート（領収証兼用）をお受け取り下さい。ネームプレートには所属・氏名を記入し、学会場ならびに懇親会場では必ずお付け下さい。
- ・プログラム：郵送された方は必ずご持参下さい。会場で購入される場合には1,000円を頂きます。
- ・受講証：皮膚科専門医資格をお持ちの方には、日本皮膚科学会認定の後実績6単位が認められますので、専門医受付でご記帳後に「後実績受講証」をお受け取り下さい。

B. 口演発表者の方々へ

- ・口演時間：一般演題、テーマ演題は口演4分半、討論4分半です。
「あなたならどうする？」は口演・討論合計15分、グループスタディは口演5分、討論5分でお願いします。
- ・口演発表は全てPowerPointによる発表のみとさせていただきます。
昨年同様、発表内容を保存したCDを前もって8月18日（金）までに大会事務局へご送付下さい。
当日の運営を滞りなく行うためにも、ぜひご協力をお願いします。

CD送付先:

〒951-8566 新潟市川岸町2-15-3
新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科 竹之内辰也宛

- ・会場に用意するパソコンはWindows XPで、使用するアプリケーションはPowerPoint2003です。
- ・Macintosh版のPowerPointで作成された方は、あらかじめWindowsパソコンでの動作確認をお願いします。
- ・動画の使用はご遠慮下さい。アニメーションは構いません。
- ・発表の際は演台に設置しておりますモニター、マウス、キーボードを使用して、演者ご本人により操作して頂きます。
- ・当日試写：口演開始予定時刻の60分前までに受付にて試写をお願いします。
- ・ノートパソコンの持ち込みによる発表は受け付けません。

C. ポスター展示の方々へ

- ・「あなたならどうする?」、「一目ご覧下さい!」、「グループスタディ」についてはポスター展示をお願いします。
- ・展示はロビーの展示パネルにお願いします。掲示は26日午前11時以降、撤去は27日の午後以降でお願いします。

- ・ポスターの掲示はセロファンテープによる固定になります。テープはこちらで用意します。
- ・パネルのサイズは横 120cm、縦 180cm です。左上の演題番号はこちらで用意しますので、それ以外のスペースはご自由にお使い下さい。

D. 学会誌用原稿提出のお願い

本学会の発表演題は、原則として全て日本皮膚外科学会誌にその要旨を掲載させていただきます。お手数ですが、学会当日に別紙の要項に従って原稿の提出をお願いします。なお、後日学会本部事務局で原稿内容を一部変更させて頂く場合がありますので、プリント原稿 1 部と電子メディア（CD、MO ディスク等）の両方の形での提出をお願いします。強調文字（太字またはボールド体）の設定は行わないで下さい。

E. 討論者の方々へ

発言者は座長の指示に従って、討論用マイクを用いて所属と氏名を述べてから発言して下さい。

追加および討論の内容を所定の用紙に記入し、総合受付の回収箱に入れてください。

F. 日本皮膚外科学会への入会申し込みについて

日本皮膚外科学会への入会申し込み手続きは、本学会会場では取り扱いません。入会希望の方は学会本部事務局へ直接ご連絡下さい。

〒 663-8501 西宮市武庫川町 1-1

兵庫医科大学皮膚科学教室 日本皮膚外科学会（本部）事務局 伊藤孝明

TEL: 0798-45-6653 FAX: 0798-45-6651 ホームページ: <http://hifugeka.m78.com/>

E-mail: hifugeka@m78.com

G. 懇親会

26 日（土）の学術集会終了後にホテルイタリア軒（学会場より徒歩 4 分）で行います。スタッフが誘導します。

H. 総会

27 日（日）午前 8 時 30 分からホールで行います。

I. 2 日目の昼食

27 日（日）の昼食は会場でお弁当（魚沼コシヒカリのおにぎり弁当）をお配りします。グループスタディ報告を聞きながらのランチョンセミナー形式となります。

日本皮膚外科学会誌投稿用原稿作成の要領

学会発表前のスライド受付時に印刷されたものとデータ(様式は後述)の両方をご提出ください(もちろん発表用スライドも!)。カラー印刷になりますので、すべてのページをカラープリント専用紙(写真が含まれる場合は光沢紙)での提出をお願いいたします。図表を貼り付ける場合は、必ず直接貼付して下さい。図、表もカラー印刷できます。

1. 原稿は原則見開きの2ページ(3ページ以上も可能)とし、奇数ページ(左ページ)に文字を印字し、偶数ページ(右ページ)に写真、図、表になりますが、奇数ページに図表の挿入も可能です。

なお、学会当日での討論を可能な範囲で追加させて頂くことになりますので、参考文献の後、または最終ページに横8×縦4cm程度の空欄を開けてください。

2. 写真は個人を特定できないように眼などにマスクをお願いします。マスクがなく個人の同定が可能と思われる写真に対しては、編集委員が写真に手を加える場合がありますのでご了承下さい。特別講演は4ページ程度で企画は自由とします。なお写真は必ずカラーでお願いします。

いずれの場合も、レイアウトは編集委員が変更する場合がありますのでご了承下さい。

3. 下図のごとく、上下(約3cm)・左右(約2cm)のマージンを設定し、その中におさめて下さい。演題名と演者、演者所属は概ね縦3cmの中に入れ、**演題名はゴシック体で、他は明朝体でお願いします**。特に本文は必ず明朝体で印字して下さい(ゴシック体での本文は再提出していただくことになります)。強調文字(太字またはボールド体)の設定は行わないで下さい。

4. 演題名は13ポイント(ゴシック体)、演者所属、演者は10～11ポイント(明朝体)でワープロ印字(すべてにおいて強調文字:太字またはボールド体の設定は絶対に行わない事)し、センタリングして下さい。字間、行間は適当で結構です。本文は9ポイント(明朝体)とし、概ね1行24字、本文42行の2段組で印字して下さい。

段間は約1cmにして下さい。句読点は「、」または「,」と「。」を用いて下さい。

5. 文献は本文に出てきた順に1)、2)、3)、4-7)の形で番号を打ち、記載は以下の通りとします。

①雑誌: 番号、筆頭著者(ほか)、雑誌名、巻: 最初のページ、発行年

(例) 1. 本間 其: 臨皮, 48(5増): 12, 1994

②単行本: 番号、筆頭著者: 書名、版、巻、題名、最初のページ、書店名、発行年

(例) 2. 中川浩一: 皮膚科診断治療体系, 初版, Suppl.1, 亜急性皮膚エリテマトーデス, p74, 講談社, 1990

なお、雑誌名の略称については日皮会誌を参考にして下さい。

6. 別刷の受付は致しません

7. 原稿募集は、原則学術集会2日目までに学会受付の「学会誌受付」にご提出下さい。

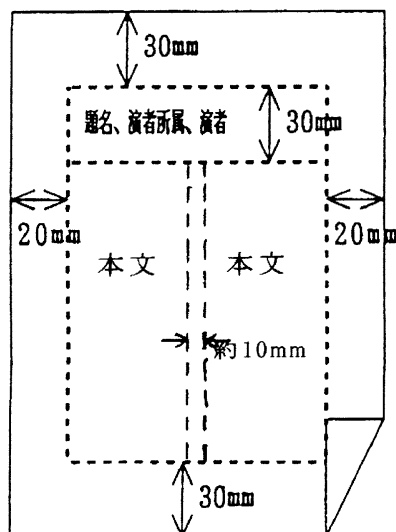
お送りの際は発表の「第○回学会、プログラム番号○番、演題名、口演者名、所属、連絡先(ファクシミリ番号)、メールアドレス」を記入した紙を同封して下さい。

学術集会以降の原稿送付先: 〒663-8501
兵庫県西宮市武庫川町1-1
兵庫医科大学皮膚科学教室内

日本皮膚外科学会事務局宛

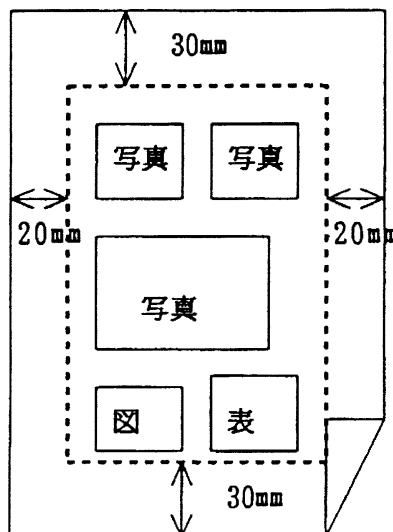
1 ページめ (左)

2 ページめ (右)



(枠は必要ありません)

A 4 用紙



A 4 用紙

※従来からの原稿様式です。基本的にはこの形で、若干変更して頂いても結構です。
上記に従って印刷された原稿と一緒に、CDRまたはMOまたはフロッピーディスクでデータを提出していただきます。

日本皮膚外科学会誌投稿用データ作成の要領

第18回学会より学会当日にプロシーディングの原稿とデータを提出して頂くことになりました。事務局で可能な限り学会当日の討議を入れさせて頂くことになりますので、原稿の他に、CDRかMOかフロッピーによる原稿データの提出をお願いいたします。

原則として提出していただいた原稿とMOなどは返却いたしません。

データは、投稿印刷用に作成したデータをそのままコピーして下さい。画像データが印刷用のデータに含まれない形式では、画像データを入れ忘れないように注意してください。提出するデータディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。万一印刷原稿とデータ内容が異なる場合はどちらが使われるかわかりませんので、必ず同一のものにして下さい。発表用スライドのために作成したMSパワーポイントのデータをそのまま提出しないで下さい。印刷用データと発表用スライドのMSパワーポイントデータの両方をコピーしていただくことは大歓迎です。

Windows(DOS)または Macintoshのソフトで作成する場合

ソフトは、一太郎、MSワード、MSパワーポイントをお使い下さい。アドビイラストレーターはご遠慮願います。また文字原稿のページはMSパワーポイントをお使いにならないで下さい。

写真・図を含むページはワードは用いず、必ずパワーポイントを使用して下さい。

新発売やバージョンアップ直後のソフトを使用したデータには対応しきれない場合がありますのでご考慮をお願いします。なるべくWINDOWパソコンで作成していただくをお願いします。(Macのデータにも対応できますが)

本文がテキストデータの場合

普通にワープロで文章を作成し、テキストデータにして、一続きの文章はなるべく改行しないで下さい。本文の小見出しがあるときは必ず改行して下さい。引用文献の番号などの上付文字を振る時は「これこれ¹⁻³⁾はあれそれ」は「これこれ■1-3) ■はあれそれ」というように2つの■で囲って下さい。本文をテキストデータで提出される場合は、写真や図、表は、プリントまたは印刷してA4の紙に前ページの例に従って、貼り付けて作成して下さい。

なお、ワープロ専用機でデータを作成した場合はDOSのテキスト形式のみで受け付けます。

ファイル名の付け方

Windows (DOS) の標準フォーマット、MacintoshはDOSフォーマットで、下記のファイル名を付けてください。

ファイル名の上1桁目 (半角アルファベットで)

特別講演 . . . T
一般演題 . . . I (テーマ演題も一般演題も同じ「I」です)
あなたならどうする . . . A
ひと目ご覧下さい . . . H
その他 . . . S

ファイル名の上2・3桁目 (半角数字2桁で)

演題番号 . . . 演題番号が一桁の場合は、頭に0を入れてください。

ファイル名の上4桁目以降 (半角アルファベットと数字で)

本文 H
図 F 番号
表 T 番号 の順に、ファイル名を半角で付けて保存して下さい。

(例) 一般演題 16番の本文 . . . I16H, 図2 . . . I16F2, 表1 . . . I16T1

個々の画像ファイルは、(ファイル名はFig.1ならF1, Table 1ならT1などというように)本文の内容と関連のある名前にしてください。

文字化けをさけるために本文のフォントはWindowsの場合はMSP明朝かMS明朝、Macintoshの場合はOSAKAのみにしてください。強調文字(太字またはボールド体)の設定はしないで下さい。強調したい部分はゴシック体にしてください。

外字は使わないでください。癢痒の「癢」、哆開の「哆」などは外字の場合があります。

CDRやMO、フロッピーなどに直接ラベルを貼って下記項目を必ずご記入下さい。

口演者名、演題名

Windows か Macか、作成したソフト名とバージョン

保存されているファイル名

必ず印刷した原稿(写真・図・表は貼付でも可)とデータの両方を提出して下さい。
提出するディスクは、作成したパソコンとは別のパソコンで正しく表示されることを確認して下さい。

不明な点がございましたら何なりと学会事務局(兵庫医科大皮膚科)まで、メールまたはファクシミリでお問い合わせください。できればメールをお願いします。電話によるお問い合わせは受け付けていません。

事務局メールアドレス hifugeka@m78.com

事務局ファクシミリ: 0798-45-6651

事務局学会誌作成についての問い合わせ専用アドレス . . . hgkaishi@m78.com

学会誌用データ送付用アドレス hifugeka@kiwi.ne.jp